

～ Smile いっぱい！かがやく湯江っ子のために ～

# SCRUM



島原市立湯江小学校  
学校だより No.8  
令和6年6月3日(月)  
文責：校長 大槻浩二

## 湯江っ子の心を見つめる教育週間

6月3日(月)から6月7日(金)までの1週間を「湯江(長崎)っ子の心を見つめる教育週間」として、特に「命の大切さ」を考える機会とし、様々な取り組みを実施いたします。期間中の全ての期間は、学校公開日とします。授業参観日は、3日(月)に設定しましたが、その日以外でもご都合に合わせて授業等の参観ができますのでご来校ください。

3日の授業参観は、「命の大切さ」をテーマとした道徳の授業を行いました。「命の大切さ」を親子で考える機会にしてほしいと思います。授業参観後の感想などを家庭でも話し合ってみてください。

### 【教育週間中の主な取り組み】

6月3日	あいさつ運動 個人面談の開始 いのりの日集会・感想記述 食に関する指導(3-1) 道徳の授業参観・学級部会 学校支援会議(湯江ん子会)
4日	食に関する指導(3-2)
6日	有明歴史民俗資料館・縄文の里見学(6年)
7日	いのりの日感想掲示 福祉体験学習(5年)
期間中	学校公開日 さわやかあいさつ運動

## 33年目のいのりの日

教育週間中の3日(月)には、「いのりの日集会」を行いました。平成3年の火砕流による被災の体験を継承し、防災意識を高め「生命・きずな・感謝の心」を大切に育てる子どもを育てるため、島原市にとっては、とても大切な行事です。

今年度は、当時のニュース

映像や写真を使って、当時の災害や人々の生活の様子を伝えました。子どもたちは、真剣な表情で耳を傾け、感想を記述していました。



学校や家庭、地域が一体となって「心豊かな長崎っ子を育てる」ため、各学校で心を育む教育活動を公開します。

とき：令和6年5月から11月の間で各学校が設定する一定期間

前期 5月～7月 後期 9月～11月

長崎県教育委員会

## キャンドルづくり

5月29日(水)、3年生が「いのりの日キャンドルづくり」をおこないました。まず、語り部の方から、雲仙普賢岳噴火災害のことについて、お話を聞きました。続いて、災害記念館の方をはじめとする関係ボランティアの皆様を作り方を教えていただきながら、キャンドルを作りました。



一人一人、自分の想いを込めて作ることができました。6月3日に災害記念館で行われる追悼行事「いのりの灯」には、代表児童が参加して、キャンドルに点灯します。



「人は人の傘になれる」

心の雨を降らす子どもがいたら

心の傘になってあげる子どもを育てたい

ある取材を受けたときに、座右の銘を聞かれ、答えた言葉です。自分がまずは傘になれる人でありたい。

いっになく元気がないな…。

保健室に行く回数が多いな…

今日の給食はおかわりしなかったな…。

子どもたちのちょっとした変化に気づく教師でありたい。教師も完ぺきではありませんから、気づかないこともある。

だからこそ、全職員で全児童に関わる。

担任が気づかなかった変化に、他の職員が気づくこともある。

だからこそ、職員の話題の主語は「子ども」にする。

「そんなことぐらい」

その言葉は、たくさん経験して乗り越えてきた大人だから言える言葉です。

「いつもと違う」は、心の雨を降らせているかもしれない。

教師の姿で、人の傘になれる

子どもに育てたい。

心を見つめる教育週間が始まった。



\* 休みは、復興アリーナで行われたフットサルの大会を応援に行きました。学校外でがんばる姿も素敵だ。また、高校総体も応援に行った。教え子の成長や活躍する姿を見ると自分の力になる。たくさんの笑顔、涙に感動をもらった2日間でした。

